

拝啓

残暑の厳しき折、益々ご清祥のことと存じます。

この度は、星雲教育基金の奨学生として、本校より三名の生徒を採用いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

東日本大震災では、本校があります福島県いわき市でも、大変多くの犠牲者を出し、津波の被害も甚大なものでした。また、原発事故に伴い、避難を余儀なくされた人々も多く、現在もなお、避難先から登校している生徒もおります。

奨学生として採用された三名もまた、家が全壊し、さまざまな面で苦勞しておりますが、目標に向かって何事にも前向きに取り組んでいるところであります。そうした中で、皆様からの大きな支援をいただき、奨学金に加え、パソコンまでもをいただけたことを、大変喜んでおります。

震災は多くの傷を残しましたが、こうして、世界から支援をいただいていることを身をもって経験できたことは、これからの人生において必ず糧となることだと思っております。

本来であれば、早急に御礼を申し上げるべきところ、この時期になってしまったことをお詫びいたします。

末筆ながら、改めて御礼を申し上げるとともに、皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

敬具

平成二十三年八月十九日

福島県磐城第一高等学校

学校長 山崎 勲

星雲教育基金 御中